

# 「海・みどり・ひとがはぐくむ活力あるまち」をめざして

## 新市のまちづくりに249億7,401万円

平成18年度当初予算が3月定例会市議会で可決されました。

当初予算では、合併および市長選挙の時期などから政策的な経費などの計上を避け、主に扶助費などの義務的な経費や施設管理費などの経常的な経費を中心とした骨格予算で編成しています。

政策的経費などについては、事業の優先順位などを考慮しながら6月に行われる議会で補正予算（肉付け予算）として提案する予定です。＊当初予算とは年度当初の4月から予算執行できるように、年度の開始前に予算を編成し、議会の議決を経る予算。補正予算は、年度途中で追加編成する予算のこと。

### 地域の発展と融和を 優先した予算編成

平成18年度の予算は、匝瑳市として実質的に最初の予算であると同時に、新市建設計画の実現に向けた新しいまちづくりのための第一歩となる予算です。

骨格予算のため、政策的経費などは計上していませんが、旧市町それぞれが取り組んできた重点事業を継続するとともに、地域の均衡ある発展と地域の融和、市民の一体感・連帯感をつくり出す予算編成となるよう配慮しました。

予算総額は、249億7,401万円。旧市町の前年度予算合計額と比較すると4.4割の減となりました。

### 一般会計

一般会計は、教育や福祉の充実、道路・排水の整備など、市が行う仕事の基本的な経費を計上しています。

予算額は124億5,000万円、前年度比では7.6割の減となりました。本年度は新たに市総合計画の策定に着手するほか、登下校時における児童・生徒の安全対策の強化などに取り組みます。また、継続事業では、八日市場駅

南口広場や市道108号線（松山地先）・0103線（川辺地先）などの幹線市道の整備を推進していきます。

### 特別会計

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計と区別して経理する会計です。

各特別会計の総額は125億2,401万円で、昨年度と比べると国民健康保険事業は0.9割の減、老人保健事業は1.1割の減、介護保険事業では2.2割の増となりました。また、病院事業では、収益的支出では3.7割の減となりましたが、医療器械などの整備により資本的支出が5.9割の増となっています。

### 一般会計の主要事業

◎健康福祉分野では	
■障害者計画・障害福祉計画策定事業	450万円
■地域包括支援センター運営事業	609万円
●施設訓練等支援事業	1億9,141万円
●マザーズホーム運営事業	979万円
●児童手当支給事業	2億4,297万円

### 市長の施政方針から(要旨抜粋)

### 常に危機意識をもち 行財政改革を



平成18年度は、匝瑳市の始動の年であり、新たに定めていかなければならないことが多い大変重要な年度です。

まずは、新市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、まちづくりの指針となる基本構想・基本計画の策定を行うていきます。

策定にあたっては、合併協議会で定めた新市建設計画の趣旨を可能な限り計画に反映させるとともに、市民が新市に対して何を望んでいるのか、どのような行政運営を行ってほしいのか、市民の皆様の声を聞きながら、計画を策定してまいります。

総務省では、平成17年3月に「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」を策定し、より一層積極的な行政改革の推進に努めるよう地方に求めています。

本年1月からは、総務大臣主催の「地方分権21世紀ビジョン

懇談会」を開催し、21世紀の地方分権のビジョンについて検討を始めています。

懇談会の議論では、現在、自治体の財政再建団体制度はあるものの、実効性には疑問の声が上がっており、財政規律の意識を高め責任を明確にした、より厳しい自治体の破綻(はたん)法制が必要だとしています。

こうした破綻法制が実現されることになれば、自治体にとっては、これまで以上、財政再建に取り組まなければならない厳しい立場に立たされることになります。

したがって、本市は、合併したからといって改革の手立てを緩めることは決してなく、本市の置かれている状況、本市を取り巻く環境を十二分に見極め、常に危機意識と改革意欲をもって取り組んでいく必要があります。

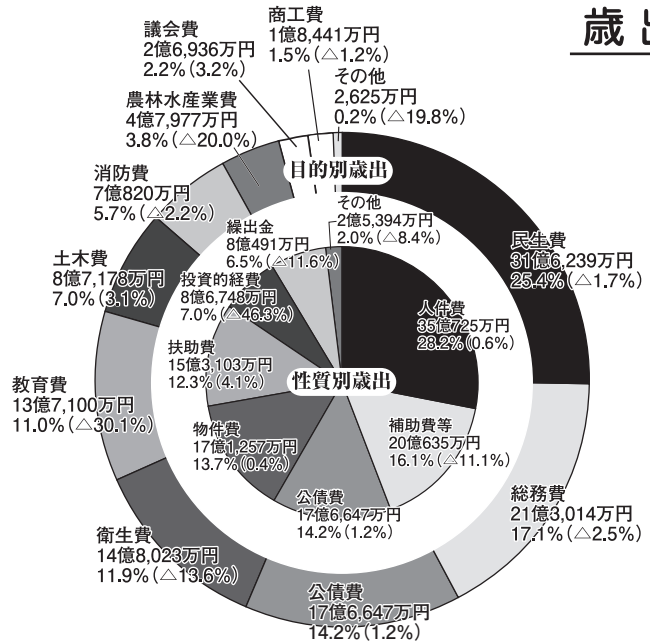
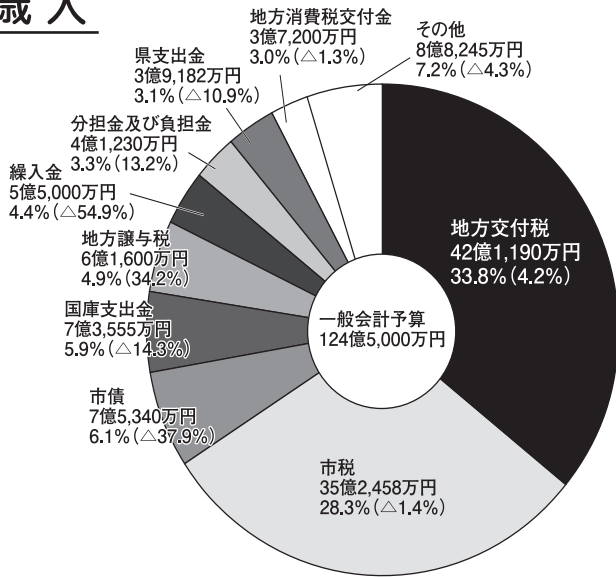
このため、総務省の指針に基づき、財政健全化や職員給与および定員管理の適正化などを盛り込んだ「集中改革プラン」を策定し、「入るを量りて出ずるを制す」の精神のもとに不断の努力で行財政改革に取り組んでいく所存です。

# 一般会計予算の内訳

1万円未満は四捨五入、( )は平成17年度の旧市町の予算額合計に対する増減率です。

## 歳入

## 歳出



- 老人保護措置費 8、694万円
- 養護老人ホーム委託事業 1億3、059万円
- 病院事業会計助成事業 2億2、208万円
- 乳幼児医療扶助事業 2、127万円
- がん検診事業 4、330万円
- 基本健康診査事業 4、385万円
- ◎産業経済分野では 4、385万円
- 北総東部土地改良事業 4、369万円
- 排水機場維持管理費 9、768万円
- ふれあいパーク八日市場管理費 1、770万円
- ふるさと農道整備事業 1、388万円
- 商工業活性化支援事業 1、040万円
- 中小企業資金融資事業 8、000万円
- 観光協会助成事業 450万円
- ◎生活環境分野では 450万円
- 循環バス運行事業 5、464万円
- 防犯対策事業 1、844万円
- 環境測定事業 692万円
- 合併処理浄化槽設置促進事業 7、880万円
- 老人保護措置費 8、694万円
- 養護老人ホーム委託事業 1億3、059万円
- 病院事業会計助成事業 2億2、208万円
- 乳幼児医療扶助事業 2、127万円
- がん検診事業 4、330万円
- 基本健康診査事業 4、385万円
- ◎都市基盤分野では 4、385万円
- 道路維持事業 3、105万円
- 道路新設改良事業 3億2、398万円
- 排水路整備事業 2、939万円
- 環境衛生組合負担金 3億7、317万円
- 東総衛生組合負担金 1億3、535万円
- 八日市場駅南口広場整備事業 1億9、860万円
- ◎文化教育分野では 1億9、860万円
- 断・児童生徒安全対策事業 102万円
- スクールカウンセラー設置事業 1、056万円
- 外国青年招致事業 1、647万円
- 多人数学級補助教員活用事業 955万円
- 複式学級解消補助教員配置事業 766万円
- 小・中学校教育用パソコン活用事業 4、395万円
- 児童クラブ設置育成事業 2、632万円
- 読書普及促進事業 1、808万円
- ◎行財政の運営では 1、808万円
- 断・総合計画策定事業 630万円
- 電子自治体推進事業 7、117万円
- 戸籍住民基本台帳事務費 1、501万円
- 断は新規事業 73・0085

## 会計別予算

会計名	平成18年度	平成17年度 (旧市町合計額)	増減率
一般会計	124億5,000万円	134億7,000万円	▲7.6%
特別会計			
国民健康保険特別会計	42億 459万円	42億4,339万円	▲0.9%
老人保健特別会計	31億7,407万円	32億1,081万円	▲1.1%
介護保険特別会計	22億 476万円	21億5,824万円	2.2%
病院事業			
収益的支出	27億7,200万円	28億8,000万円	▲3.7%
資本的支出	1億6,859万円	1億5,918万円	5.9%
小計	125億2,401万円	126億5,162万円	▲1.0%
合計	249億7,401万円	261億2,162万円	▲4.4%

- 公園維持管理費 3、007万円
- 八日市場駅南口広場整備事業 1億9、860万円
- ◎文化教育分野では 1億9、860万円
- 断・児童生徒安全対策事業 102万円
- スクールカウンセラー設置事業 1、056万円
- 外国青年招致事業 1、647万円
- 多人数学級補助教員活用事業 955万円
- 複式学級解消補助教員配置事業 766万円
- 小・中学校教育用パソコン活用事業 4、395万円
- 児童クラブ設置育成事業 2、632万円
- 読書普及促進事業 1、808万円
- ◎行財政の運営では 1、808万円
- 断・総合計画策定事業 630万円
- 電子自治体推進事業 7、117万円
- 戸籍住民基本台帳事務費 1、501万円
- 断は新規事業 73・0085